

福岡県立図書館子ども図書館資料収集方針

(収集方針)

- 1 乳幼児、児童および研究者等の利用に供するため、内外の児童資料・情報を網羅的に収集する。資料収集にあたっては、現物選書を中心に行い、書誌情報等にも留意して、選書する。
新刊図書の収集とともに、既刊図書についても、未収資料の補充と利用頻度の高い図書の複本化を図る。

(収集対象)

- 2 収集対象は、子どもの本と、子どもの本や読書に関わる研究資料とする。
 - (1) 子どもの本
 - ①国内の子どもの本は、全分野にわたり可能な限り収集する。
特に、郷土の作家の作品及び郷土出版物は、積極的に収集する。
 - ②海外の資料は、受賞作品、児童文学史上必要なものを主として収集する。
 - (2) 研究資料
研究資料は、成人用の資料のうち、子どもの読書に関する資料、子どもの本に関する資料、子どもの読書を研究する資料に限定する。
 - ①子どもの読書に関する資料
 - ア 図書館、文庫、親と子の読書運動等に関する資料
 - イ 子どもの読書の意義、手法等に関する資料
 - ②子どもの本に関する資料
 - ア 子どもの本の図書目録
 - イ 民話に関する資料
 - ウ 絵本に関する資料
 - エ 児童文学研究（作家論、作品論、文学史等）
 - ③子どもの読書を研究する資料
 - ア 子どもの生活と心理に関する資料
 - イ 紙芝居、パネルシアター、エプロンシアター等に関する資料
 - ウ 童謡、わらべうた等に関する資料
 - ④海外で出版された資料
海外で出版された子どもの本に関する資料についても必要に応じて、収集する。
(例 書評誌、児童文学事典等)

(蔵書構成)

- 3 収集にあたっては、蔵書構成を留意して、選書を行う。
 - (1) 子どもの本
 - ①選定されたリスト等も参考にして、基本図書の所蔵に留意する。購入による補充や買い替え、利用の多いものについては複本化を図る。
 - ②類書のチェックや比較を行い、その分野の蔵書のバランスと鮮度を考慮する。
 - ③復刊については、前著との違い（内容、装丁、訳者など）を確認し、利用状況なども勘案して判断する。
 - (2) 研究資料
 - ①研究資料については、多角的な見解を持つ資料を所蔵することが必要であるため、可能な限り網羅的に収集する。
 - ②増補、改訂、新版等の発行に留意し、最新の資料が提供できるよう、選書する。
 - ③復刊については、前著との違い（内容、装丁、訳者等）を確認して、判断する。

附 則

この方針は、平成31年3月1日から施行する。